

全国トイレシンポジウム

全国トイレシンポジウムは、毎年 11 月 10 日の「トイレの日」(日本トイレ協会制定) 前後の週末に開催しています。

- | | | |
|-------|-------------------|--|
| 1986年 | 静岡県伊東市
東京都江戸川区 | 「社会とトイレを考える…公共トイレを中心として」
「トイレアメニティを目指して」 |
| 1987年 | 神奈川県横浜市 | 「トイレからのまちづくり」 |
| 1988年 | 鳥取県倉吉市 | 「トイレ文化と健康からのまちづくり」 |
| 1989年 | 熊本県熊本市 | 「21世紀へ向けてトイレ文化を考える」 |
| 1990年 | 愛媛県川之江市・伊予三島市 | 「トイレと紙と環境」 |
| 1991年 | 石川県金沢市ほか | 「旅と自然とトイレ
(交通とトイレ自然公園、災害とトイレメンテナンス)」 |
| 1992年 | 東京都北区 | 「トイレの進化とこれからの課題」 |
| 1993年 | 群馬県高崎市 | 「トイレの視点で地域ネットワークを考える」 |
| 1994年 | 三重県磯部町ほか | 「美しい水環境とトイレづくり」 |
| 1995年 | 長崎県小浜町 | 「自然と人間にやさしいトイレづくり」 |
| 1996年 | 富山県 | 「環境とトイレ」 |
| 1997年 | 宮城県気仙沼市 | 「福祉・トイレ・環境で地域をつなぐ」 |
| 1998年 | 北海道旭川市 | 「寒冷地・医療とトイレ」 |
| 1999年 | 福岡県北九州市 | 「21世紀のトイレと人間環境」 |
| 2000年 | 山口県松江市 | 「開かれた観光地づくりとトイレ整備」 |
| 2001年 | 埼玉県さいたま市 | 「公共トイレの整備はどこまで必要か？」 |
| 2002年 | 京都府京都市 | 「21世紀にトイレは何を目指すのか?(資源化)」 |
| 2003年 | 岐阜県高山市 | 「トイレが創る住みよいまちシンポジウム」 |
| 2004年 | 東京都千代田区 | 「人間中心の都市再生を目指して」 |
| 2005年 | 神奈川県小田原市 | 「活力ある商業・観光都市を目指して」 |
| 2006年 | 岩手県遠野市 | 「環境共生型トイレモデル都市」を実現する」 |
| 2007年 | 東京都港区 | 「環境配慮型・有料トイレ・広告トイレの整備を考える」 |
| 2008年 | 長野県伊那市 | 「『桜の里』で里山、山岳、避難時のトイレを考える」 |
| 2009年 | 千葉県松戸市 | 「川の駅・トイレ/ジョイントフォーラム 2009」
「トイレがまちにやってきた・まちトイレ/川トイレ/防災トイレ」 |
| 2010年 | 神奈川県鎌倉市 | 「く観光とトイレ/鎌倉トイレフォーラム 2010」
「誰でも使えるニコニコトイレ」 |
| 2011年 | 神奈川県横浜市 | 「く横浜国際トイレフォーラム 2011」
「市民の命と暮らし/災害とトイレ」 |
| 2012年 | 東京都渋谷区 | 「社会環境の変化とトイレ/
人々・街・医療・危機管理」 |
| 2013年 | 東京都新宿区 | 「都市とトイレ/地域・教育・医療・防災」 |
| 2014年 | 東京都世田谷区 | 「学校とトイレ/こんなに大事な学校のトイレ
-現状・課題・対策-」 |
| 2015年 | 東京都文京区 | 「世界に発信する日本のトイレ-2020年のその先へ」 |
| 2016年 | 東京都千代田区 | 「パブリックデザインとトイレ」 |
| 2017年 | 神奈川県横浜市 | 「誰もが楽しく歩けるまちへ/まちなかトイレを考える」 |



(一社) 日本トイレ協会役員・運営委員等

- | | | | |
|------|---|--|--------|
| 会長 | ・高橋志保彦 | 神奈川大学名誉教授/
高橋建築都市デザイン事務所 主宰 | ・印: 理事 |
| 副会長 | ・山本 耕平
・鎌田 元康 | (株) ダイナックス都市環境研究所 代表取締役社長
東京大学名誉教授 | |
| | 小林 純子
軍記 伸一 | (有) 設計事務所 Gondra 代表
中日本高速道路(株) 東京支社 副支社長 | |
| 運営委員 | 赤堀 時夫
浅井佐知子
天池 洋一
上野 義雪 | 前(財) 自然公園財団 事務局長
(有) 設計事務所 Gondra
(一社) 日本レストルーム工業会 専務理事
上野研究室 主宰 | |
| | 岡元 英祐
川内 美彦
木内 雄二
坂上 遼
白倉 正子
高橋未樹子
谷本 亘
寅 太郎 | 無臭元工業(株) 環境薬剤部部長
東洋大学ライフデザイン学部教授
TOTO(株) 渉外部 担当課長
武蔵野大学客員教授 作家
アントイレプランナー 代表
コマニー(株) 製品開発部研究開発課 主査
日野興業(株) 営業企画部長
前(株) レンタルのニッケン 取締役常務執行役員
日本カルミック(株) 企画開発室長 | |
| | 中野 洋一
中森 秀二
中山 真智
新妻 普宣
村上八千世
森田 英樹
山戸 伸孝 | (株) LIXIL LIXIL Water Technology Japan
経営企画部 戦略推進部 渉外グループ 主幹
トーションファシリティーズ(株) 代表取締役専務
(株) 総合サービス 代表取締役社長
アクトウェア研究所 代表
総合トイレ学研究室
(株) アメニティ 代表取締役社長 | |
| 監事 | 松田 芳夫 | (一社) 全日本建設技術協会 技術顧問 | |
| 事務局長 | 佐竹 明雄 | 元 湘南ステーションビル(株) 専務取締役 | |
| 事務局員 | 小澤 美紀 | 元 海洋科学技術センター 企画部国際課 | |
| 名誉会長 | 平田 純一 | 日本トイレ協会 前会長 トイレ評論家 | |



トイレ学大事典

日本トイレ協会 編 柏書房刊

発売中

多機能トイレの開発・普及で世界をリードしてきた日本。
トイレめぐって、文化史から環境学まで多角的な視座から
トイレを徹底解剖する、初のトイレ総合事典。

jta 一般社団法人 日本トイレ協会
Japan Toilet Association

公式ホームページ: <http://www.toilet-kyoukai.jp>

E-Mail: jta-jimukyoku@toilet-kyoukai.jp

Tel / Fax: 03-5844-6123

〒112-0003 東京都文京区春日 1-5-3 春日タウンホーム 1F-A



2018年7月発行

美しい日本、爽やかトイレ



一般社団法人
日本トイレ協会
Japan Toilet Association

(一社) 日本トイレ協会とは



会長 高橋志保彦

人が集まるところにはトイレが必要です。トイレがなければ集まりません。そして一生の間にほぼ 20 万回も使うのがトイレです。トイレは大切な施設であり空間です。

1985 年に当協会が発足して以来、30 年以上も経過しましたが、振り返ってみると公衆トイレの見直しから始まり、「目指すべき日本のいいトイレ」を探求し、学校のトイレ、山のトイレ、医療・福祉のトイレ、災害とトイレ、観光とトイレ、トイレのメンテナンス、ノーマライゼーション、国際会議等々、会員の皆様と共に苦勞も伴いながら今や日本のトイレは素晴らしいと言われるようになって、努力をした甲斐もあり、達成感もありました。専門企業のたゆまぬ研究と技術向上は驚異的でもあります。これらは私たちの清潔好き・道徳観・価値観に裏打ちされた美学の追求だと思えます。人間形成をも目指すものともいえましょう。そして次第に世の中の関心が高まり、人々から感謝もされ、トイレの大切さが人々の「常識」の中にその座を占めるようになりました。「日陰の子」から「日向の子」に引き出され、陰性から陽性に明るいものになりました。

「継続は力」でもあり共に、常に「革新」も必要です。

今後の協会の活動は、初心を忘れず、「人にやさしいトイレ、持続可能な環境形成」を求める「トイレ道」を作り上げていきたいと思えます。

一般社団法人 日本トイレ協会 会長 高橋志保彦

(一社) 日本トイレ協会のおもな活動

- 会員総会（毎年 5～6 月頃）
- 協会ニュースの発行（会員にのみ郵送 / 年 4～5 回）
- 全国トイレシンポジウムの開催（毎年 11 月頃）
 - ・基調講演・報告・パネルディスカッション 等・概要集の発刊
 - ・企業・団体紹介ブースの展示 等
- グッドトイレ選奨の実施
- 公式ホームページの運営
- 研究会の開催
- 出版
- 日本のトイレ文化の世界への発信
- 企画・調査・研究・マスコミ対応 等
- 講演（講師派遣等）
- その他、本会の活動趣旨に即したのもの

これまでの活動

- 毎年 11 月 10 日を「トイレの日」と定め、全国各地の自治体と共催で「全国トイレシンポジウム」を開催しています。
- 全国の自治体に働きかけ、すばらしい公共トイレを募集し「グッドトイレ10」として表彰してきました。現在は「グッドトイレ選奨」として継続中です。
- 日本トイレ協会がきっかけとなり、欧州・アジアの各国でもトイレ協会が設立され、WTO (World Toilet Organisation) も設立されるなど、国際的な協力関係も深めています。
- 日本トイレ協会では、時代の変化に応じてより具体的な議論が行われ、さまざまな研究会が活動してきました。
- トイレに関する文化の向上と快適なトイレ環境作りを目指し、これからも取り組んでいく所存です。

- | | | |
|--------|----------|---|
| 1985 年 | 5 月 15 日 | 日本トイレ協会発足 |
| 1986 年 | | 第 1 回全国トイレシンポジウム開催（伊東市）
「トイレの日」（11 月 10 日）制定 |
| 1989 年 | | 日仏トイレフォーラム（トリアノン宮殿）
（92 年パスツール研究所で第 2 回開催） |
| 1992 年 | | 「メンテナンス研究会」発足 |
| 1993 年 | | 世界初のトイレの国際会議「神戸国際トイレシンポジウム」開催 |
| 1994 年 | | アジア・太平洋地域公共トイレセミナー開催（香港） |
| 1995 年 | | 阪神淡路大震災にてトイレボランティアの展開 |
| 1996 年 | | 「学校トイレ研究会」発足 |
| 1997 年 | | 「ノーマライゼーション研究会」発足
「トイレメンテナンスマニュアル」発刊 |
| 2000 年 | | 「次世代トイレ研究会」発足 |
| 2001 年 | | 第 1 回世界トイレサミット開催（シンガポール） |
| 2002 年 | | 学校トイレフォーラムを神戸・名古屋等 4 都市で開催 |
| 2005 年 | | 愛知万博に「トイレ探検館」出展 |
| 2009 年 | | グッドトイレ選奨始まる |
| 2011 年 | | 東日本大震災のトイレ調査
災害とトイレをテーマにシンポジウム開催 |
| 2013 年 | | ユニセフ「世界トイレの日」（11 月 19 日）制定
「トイレ文化研究会」発足 |
| 2014 年 | | 日本科学未来館の「トイレ？行っトイレ！」展に協力 |
| 2015 年 | | 創立 30 周年記念フォーラム
「トイレ学大事典」発刊 |
| 2016 年 | | 熊本地震へのトイレ支援を実施
一般社団法人となる |
| 2017 年 | | 災害時のトイレ備蓄状況の実態調査
グッドトイレマークの選定 |



各研究会の活動

日本トイレ協会には、特化したテーマごとに、より専門的に研究を行う「研究会」があります。運営方法や開催方針は、各研究会ごとに異なりますが、数か月ごとに講師を招いた定例会を実施したり、出版物を発刊したりしております。

ご関心のある方は、日本トイレ協会公式ホームページよりお問い合わせください。

■メンテナンス研究会

1992 年に発足。ハード／ソフトの両面からトイレのメンテナンス（維持管理）に関する技術の多角的向上を図るとともに、社会一般の「日頃、目にすることのないトイレメンテナンス」への理解を深めるための調査・研究・提言を積極的に展開しています。定例会の開催は 176 回を超えました。これからも時代の変化に合わせて研究を続ける所存です。



■ノーマライゼーション研究会

1997 年発足。人が自立して暮らす上で大きなウエイトを占めるトイレを軸にしながら、障害のある人や高齢の人のみならず、様々な人々を対象に、社会生活を営む上で不可欠なトイレのあり方、みんなが安心して使えるトイレはどうあるべきかについて考える活動をしています。また、トイレにとどまらず、ノーマライゼーション社会を実現するための社会制度はどうなっているのか、これからどうなっていくべきかといった幅広いテーマについての活動を進めています。



■トイレ文化研究会

トイレにまつわる様々な文化を考察し、講演会や見学会、調査分析等の研究活動を行っています。今後 30 年間に 70% の確率で発生する南海トラフ地震、首都直下地震にも対応し、「災害用トイレの備蓄に関する調査」のもとに、国民に向けて備蓄の奨励活動もしています。

